

宮崎大学、「International Tea / Coffee Expo」を開催

宮崎大学は10月13日（火）より開始した「宮大グローバルWEEK 2015」のスターティングイベントとして、「International Tea / Coffee Expo」(国際紅茶・コーヒー博覧会)を開催した。

本イベントでは、インドネシア、ベトナム、ミャンマー、アフガニスタン、モーリタニア、ネパール等の外国人留学生およそ100名程度が中心となり、各国の紅茶やコーヒーを合計2000杯提供し、飲み物を通じた国際交流を図るとともに、本学において実施している様々な国際関連イベントや課外英語講座等の広報活動を行った。

4カ国の飲み物を試したという日本人学生からは、「同じ紅茶やコーヒーでも色々な味があるんだと身をもって経験することができた。これほど様々な国の留学生がいることは知らなかった。」と、急速に進むキャンパスの国際化を肌で感じていた。

宮崎大学では、平成26年度までにベトナムを含む4カ国5カ所に海外拠点オフィスを設置するなど、優秀な外国人留学生を積極的に取り込み、これまで以上に国際色豊かなキャンパスの構築を目指している。



学生・教職員で賑わう会場の様子



コーヒーを提供するインドネシア人留学生



紅茶を提供するスリランカ人留学生



広報活動を行うモーリタニア人留学生